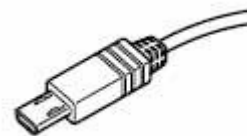


No.5515 α ビデオカメラ・タイマー 取扱説明書



No.5500ビデオカメラ・タイマーとの違いについて

「No.5500ビデオカメラ・タイマー」はビデオカメラの外部コントロール端子がA/Vリモート端子およびLANC端子に対応していますが、本器「No.5515 ビデオカメラ・タイマー」では、ビデオカメラの外部コントロール端子が「マルチUSB端子」に対応しているところが異なります。



2014年2月以降に発売されたビデオカメラでは本器「No.5515 ビデオカメラ・タイマー」と「No.5514ビデオカメラ・タイマー」が対応しています。

本器のタイマー機能については「No.5500ビデオカメラ・タイマー」および「No.5514ビデオカメラ・タイマー」と変わりはありません。本器では「No.5514ビデオカメラ・タイマー」の機能に加え、デジタルスチルカメラの静止画シャッターの制御と電源のON/OFF制御ができる機能が追加されています。

特徴

ビデオカメラを一定時間ごとに録画・停止を繰り返すインターバルタイマー。インターバルの設定は1秒単位で1秒から24時間0分0秒までの設定ができます。また録画時間もインターバル時間内で1秒から24時間0分0秒まで設定できます。

設定したそれぞれの時間は本器の電源を切っても内部メモリーに保持されます。

本器はビデオカメラの電源も制御し、録画から次の録画までの時間が31秒以上あれば録画待機中はビデオカメラおよびデジタルカメラの電源をOFFに制御するため、それらのカメラのバッテリー消耗を大幅に抑えることができます。そして録画スタートの10秒前にビデオカメラおよびデジタルカメラの電源をONにし、設定時刻から録画をスタート、設定された録画時間を経過すると録画停止、ビデオカメラの電源OFFにします。これを繰り返します。

電源は単三アルカリ電池4本で連続約2ヶ月以上使用可能です(20)。電池は装着済みです。

電池交換方法

液晶画面の文字が薄くなって見えなくなったら電池交換時期です。電池の交換はケース下部側面の凹部にマイナスドライバーなどを用いて外側に押し上げるようにしてゆっくりと明けてください。電池ホルダーはリード線で接続されていますがケースから取り出すことができます。電池の極性はスプリング側がマイナスになります。



各部説明

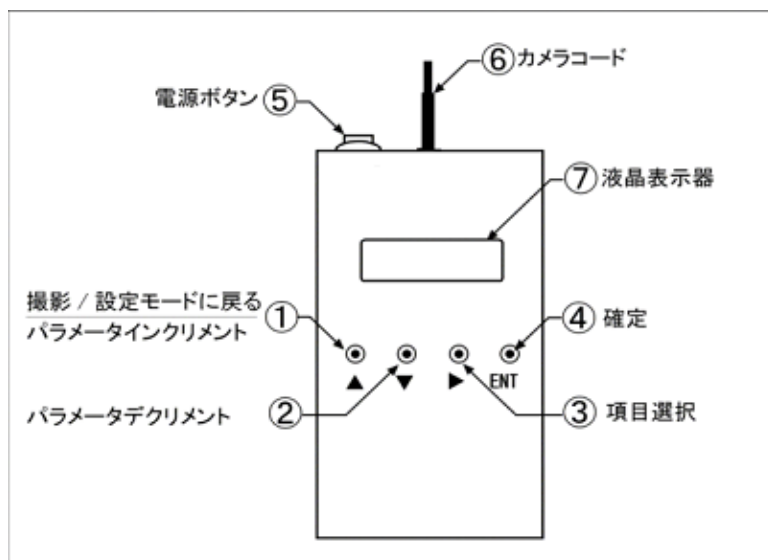
インクリメント(▲)ボタン 数値増減モード時は数値増加。撮影モードまたは設定モード時は各モード選択モードに戻る。

デクリメント(▼)ボタン 数値増減モード時は数値減少。

項目選択(→)ボタン 選択できる項目を右周りにカーソル移動させる。決定はENTボタン。

ENTERボタン 項目の決定。

電源ボタン 押してON。もう一度押し



てOFF。

カメラコード ビデオカメラの MULTI 端子に接続します。

液晶表示器 (日本語表示)

設定可能なパラメータ

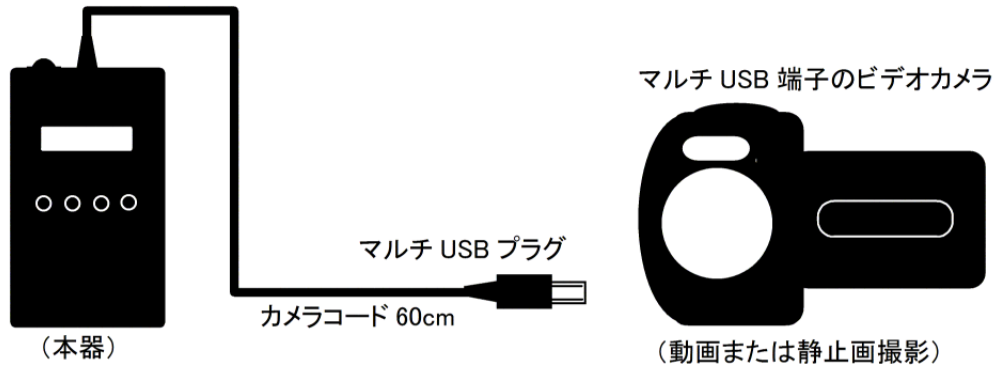
入力できるパラメータは 00:00:00 から 24:00:00 になります。

- (1) インターバルタイム 一定間隔で撮影を繰り返すためのパラメータ(値)です。例えば5時間に一回録画するという場合には [インターバル 05:00:00] を設定します。
- (2) 録画タイム インターバルの中で実際に録画する時間のパラメータです。例えば5時間間隔で3分間録画する場合にはつぎのように設定します。
インターバルタイムは [インターバル 05:00:00]
録画タイムは [ロカ 00:03:00]
- (3) 遅延スタートタイム インターバルが始まるまでの待機時間のパラメータです。例えば早朝から撮影を開始したい場合、現在の時刻から早朝スタートまでの時間を設定します。15時間後からインターバルスタートする場合には [フィニッシュ 15:00:00] を設定します。
遅延なしで即スタートする場合には [フィニッシュ 00:00:00] を設定します(初期値)。

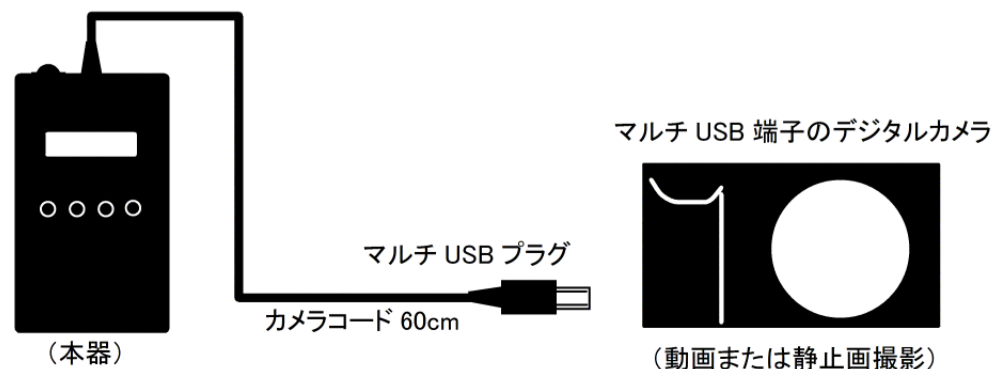
ビデオカメラとの接続方法

本器とビデオカメラとを接続します。接続方法は本器コード先端のマルチ端子プラグをカメラのマルチ端子ジャックに挿入します。つぎにビデオカメラの電源を入れビデオカメラの録画ボタンを押して動画撮影ができる状態かどうかを確認します(その後は録画はストップしておきます)。そして本器の電源を入れます。

No.5515 αビデオカメラタイマー



No.5515 αビデオカメラタイマー



(注意 1)

ビデオカメラをビデオカメラの設定で「オートパワーオフ」を解除しておきます。

時間パラメータ入力と操作方法

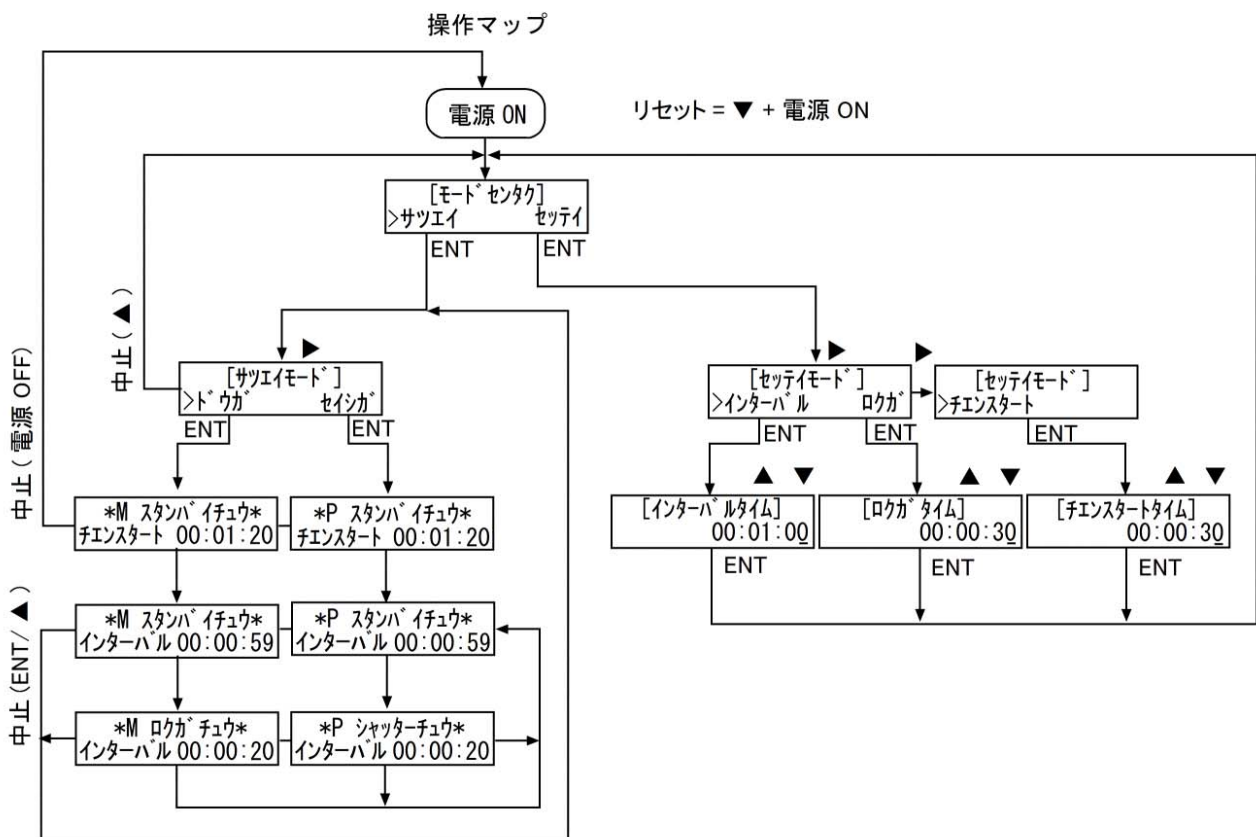
[]内は液晶画面の文字を示します。

(1) モード選択メニュー [モード セタク]

本器の電源を入れるとこのモードになり、撮影開始か時の設定かを選択できます。電源ON時は撮影側にカーソルがあります。表示：[>サツエイ セツテイ]

【項目選択ボタン】を押すと時間の設定側にカーソル表示が移動します。表示：[サツエイ >セツテイ]ここで【ENTERボタン】を押すと時間の設定モードになります。

一方、カーソルが撮影側にある [>サツエイ セツテイ] この表示で【ENTERボタン】を押すと撮影モードになります。



(2) 撮影モード [サツエイモード]

撮影モードでは動画撮影か静止画撮影かを選択できます。

[>ドウカ セイガ]の表示では動画撮影側にカーソルがあり、【ENTERボタン】を押すことで動画撮影がスタートします。一方【項目選択ボタン】で[ドウカ >セイガ]が表示され、続いて【ENTERボタン】を押すと静止画撮影がスタートします。

タイマー撮影を中止するには【ENTERボタン】を押します。さらに(1)のモード選択メニューにも戻るには【パラメータインクリメントボタン】を押します。

(3) 設定モード [セツテイ]

設定モードではインターバルタイムや録画タイムタイムそして遅延スタートタイムの時間入力ができます。

[>インターバル ロクカ]の表示から【項目選択ボタン】を押すことで

[インターバル >ロカ]にカーソルが移ります。さらに【 項目選択ボタン】を押すと [>インストール]にカーソルが移ります。

各項目にカーソル表示があるとき【 ENTERボタン】を押すと数値入力ができる [00:00:00]表示に変わります。二桁ずつの数字が 時 : 分 : 秒 を表します。数字の下に時分秒の入力位置を示すカーソル(アンダーライン)があり、ここで【 パラメータインクリメントボタン】と【 パラメータデクリメントボタン】で数値の増減を行います。また、【 項目選択ボタン】は 時 : 分 : 秒 の入力位置を右回りに移動させるのに使います。

(4) 動画撮影 *M スタパ`イユウ* / *M ロカ`チュウ*

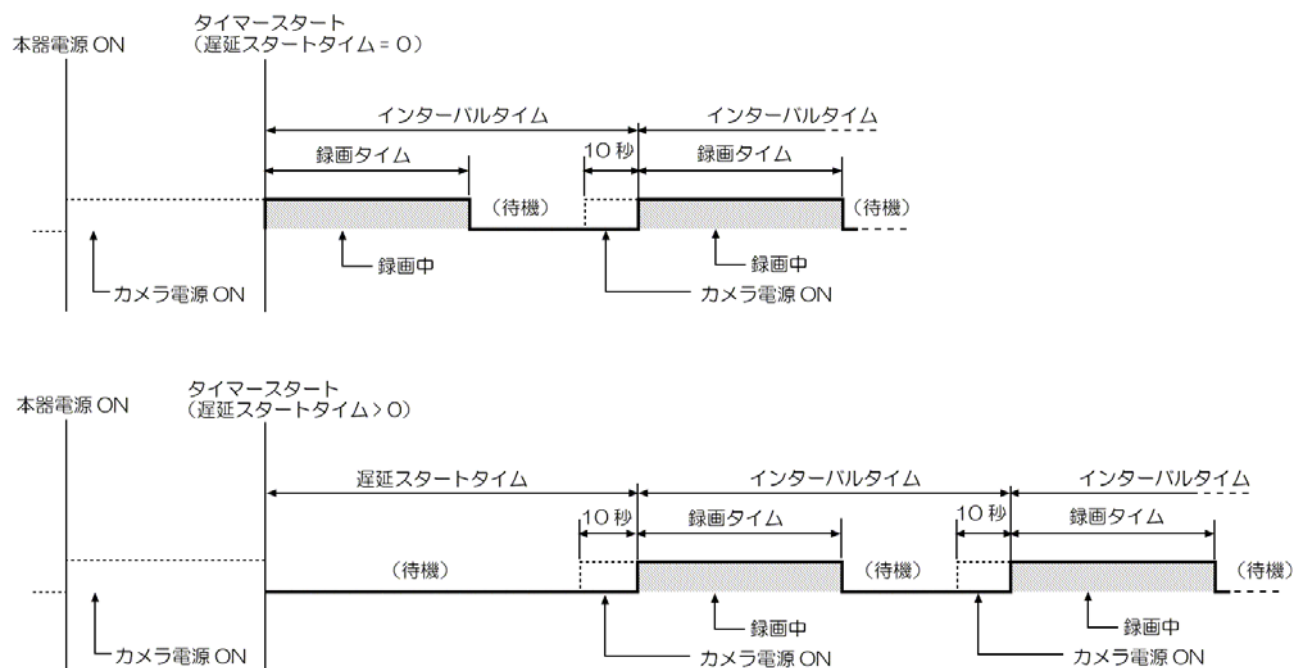
撮影モードメニューで [>ド`カ` セイカ] 表示状態で【 ENTERボタン】を押すと動画撮影がスタートします。時間表示[01:23:34]は1秒間隔でカウントダウンし、残り時間を表示します。設定したインターバル時間を経過すると[*ロカ`チュウ*]に表示が変わるとともにビデオカメラの録画がスタートします。残り時間の表示 [01:23:34] は再びインターバルタイムからカウントダウンします。この間、録画はロカタイムで設定された時間だけ行われます。【 ENTERボタン】が押されるまで繰り返されます。

インターバルタイムや録画タイム(録画時間)を変更する場合には【 パラメータインクリメントボタン】を押してモード選択メニューへ戻り時間の設定を行います。

(5) 静止画撮影 *P スタパ`イユウ* / *P シャッター`チュウ*

撮影モードメニューで [ド`カ` >セイカ]表示状態で【 ENTERボタン】を押すと静止画撮影がスタートします。静止画撮影の場合、録画タイムはすべて1秒に置き換わります。設定値は変化しません。撮影動作は【 ENTERボタン】が押されるまで繰り返されます。

静止画撮影機能のないビデオカメラでは静止画撮影はできません。



(注意 2)

インターバルタイムおよび録画タイムをゼロまたは1秒など極端に短い時間に設定した場合には、ビデオカメラの動作が間に合わないため不規則なインターバルになることがあります。

また、インターバルタイムと録画タイムの時間が同じ、または録画タイムの方が長い場合には自動的にインターバルタイムより録画タイムのほうが1秒短い設定として動作します。ビデオカメラによってはうまく動作しない場合があります。録画タイムの設定値は変わりません。

インターバルタイムおよび録画タイムが4秒以下などの短い時間設定の場合ビデオカメラの機

種によっては正常に動作しないことがあります。とくに動画撮影ではインターバル撮影を停止した後も録画のままになることがあります。この場合は手でビデオカメラをスタンバイ（録画ストップ）にしてください。このような4秒以下などの短時間設定の場合自己責任でご使用ください。

（注意3）

本器はインターバル中（録画待機中）はビデオカメラの電源を自動的にOFFに制御します。録画開始の10秒前にビデオカメラの電源を自動的にONにします。しかしあまり短い時間でカメラの電源をON/OFFすると返ってバッテリーを消費してしまうため、録画停止から録画スタートまでの時間が30秒未満では自動的にビデオカメラの電源をONのまま待機します。

例1：インターバルタイム=60秒 録画タイム=31秒 の場合 ビデオカメラの電源はONのまま

例2：インターバルタイム=60秒 録画タイム=30秒 の場合 ビデオカメラの電源を制御する次に静止画撮影モードでは、静止画撮影の「録画タイム」自動的に1秒に設定されるため、設定した録画タイムは無効となり（設定値は変化しません）ます。

例3：インターバルタイム=30秒 録画タイム=(無効) の場合 ビデオカメラの電源はONのまま

例4：インターバルタイム=31秒 録画タイム=(無効) の場合 ビデオカメラの電源を制御する

1 標準モード（P-OFF）にビデオカメラの電源を切らないモード（P-ON）が加わりました。

（カメラ映像を常時モニターしながら使用するのに便利です）

[ENTER]ボタンを押しながら電源を入れるとこのモードが入れ替わります。

標準モード(P-OFF) 電源切らないモード(P-ON) 標準モード(P-OFF)

2 ビデオカメラのナイトショットモードを使用する場合、ナイトショットと標準モードとの切り替え操作が押しボタンになっているビデオカメラでは、1の方法で本器設定をビデオカメラの電源を切らないモードにしてお使いください。ビデオカメラの電源が一旦切れるとナイトショットモードがキャンセルされます。

操作方法のまとめ

[]内は液晶表示 【 】内はボタン

インターバルタイムの入力：

[モードセレクト] 【 】 [セット] 【ENT】 [インターバル] 【ENT】 [00:00:00] (【 】 / 【 】 / 【 】 / 【ENT】)

録画タイムの入力：

[モードセレクト] 【 】 [セット] 【ENT】 [ロカ] 【ENT】 [00:00:00] (【 】 / 【 】 / 【 】 / 【ENT】)

遅延スタートタイムの入力：

[モードセレクト] 【 】 [セット] 【ENT】 【 】 [フィニッシュ] 【ENT】 [00:00:00] (【 】 / 【 】 / 【 】 / 【ENT】)

※ 遅延スタート動作中に遅延を止めるには、本器の電源を一旦切って約10秒後に再起動します。

インターバル撮影開始：

[モードセレクト] [サイ] 【ENT】 [サイモード] [ドック] 【ENT】（途中で停止するには【ENT】）

静止画のインターバル撮影開始：

[モードセレクト] [サイ] 【ENT】 [サイモード] 【 】 [セリカ] 【ENT】（途中で停止するには【ENT】）

撮影モードからパラメータ入力画面に戻るには：

【 】 [モードセレクト] 【 】 [セット] 【ENT】

録画待機時にビデオカメラの電源を切る[P-OFF]、切らない[P-ON]を設定するには：

【ENT】を押したまま本器の電源をONにすると一瞬 [P-ON] と表示されればカメラ電源を切らないモード。[P-OFF]と表示されればカメラ電源を切って待機するモード（初期設定）。同じ操作で反対のモードに切り替わる。

本器をリセットする（時間パラメータをすべてゼロ [00:00:00] になる）：

【 】を押したまま本器の電源をONにし、一旦本器電源を切り再びONにする。特に表示はでない。

NOTE

- (1) ビデオカメラの電源を液晶パネルでON/OFFできる機種では、必ず「パネルで電源オン」を「切り」に設定しておき、電源ボタンでオンにします。ビデオカメラのオートパワーオフ(パワーセーブ)を「切り」にしておきます。
- (2) 録画中に[ENTER]ボタンを頻繁にON/OFFを繰り返した場合、カメラのSTART/STOPが逆転することがあります。その場合にはカメラの録画START/STOPボタンを押して逆転を戻します。
- (3) 録画開始と同時にビデオカメラの電源が切れてしまう場合には、ビデオカメラの電源が「切り」になっていないか確認してください（HDD記録カメラ、DVD記録カメラ）。
- (4) インターバル撮影中で本器の録画中表示になっているのにビデオカメラが録画中にならない場合にビデオカメラのモードが静止画（PHOTO）になっていないか確認してください。静止画（PHOTO）モードになっている場合には必ず動画モードにして使用してください。
- (5) インターバルタイマー（本器）を使用しない場合には、本器およびビデオカメラの電源をOFFにしてください。
- (6) 本器の電源スイッチのON/OFFをすばやく繰り返すと、カメラの電源がONにならない場合があります。基本的に本器の電源をOFFにしたら約10秒待ってから本器の電源をONにしてください。
- (7) デクリメント（ ）ボタンを押しながら本器電源をONにし、一旦OFFにして再び本器の電源を入れなおすと本器はリセットされ、すべての時間データが 00:00:00 になります。

必ず、カメラが起動している状態で本器の電源を ON にしてください。

主な仕様

タイマー機能	インターバルタイマー
インターバル設定	1秒～24時間0分0秒まで1秒単位（クォーツ精度）
録画タイム(録画時間)設定	1秒～24時間0分0秒まで1秒単位
遅延スタート設定	1秒～24時間0分0秒まで1秒単位
設定時間	最小0秒、大24時間0分0秒
対応カメラ	SONY製ビデオカメラ（マルチ端子搭載機種）
表示	16文字2行液晶ディスプレイ
操作	押しボタンスイッチ4個、電源ボタン
リモートコード長	約65cm
動作環境	0～40（氷結・結露なきこと）
寸法	125×70×40mm
質量	210グラム（電池含む）
消費電流	1.5mA
電源	連続約2ヶ月以上（単三アルカリ電池、20）
付属品	単三アルカリ乾電池4本またはニッケル水素充電電池 アルカリ単三乾電池4本（装着済み）

研究室創遊

<http://www.ne.jp/asahi/soyou/labo/robotarm.html>

soyou@job.email.ne.jp